

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第571号（平成27年3月18日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

★第5回平成26年度巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会を開催について

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 第3回リサイクル推進検討会、新ガイドラインを検討

2. 交通政策審議会第59回港湾分科会を開催

3. 国交省港湾局、日本海側拠点港の取組状況を報告

=====  
★第5回平成26年度巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会の開催について

詳細については、下記にてご確認ください

<http://www.env.go.jp/press/100701.html>

【環境省 H27年3月12日】

=====  
1. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日時：平成27年3月23日（月） 場所：みなと総研3階会議室

13：00～14：30 WG⑥

14：30～15：30 WG③・④

15：30～16：30 WG①

なお、WG②につきましては別途日程調整予定のため未定。

【事務局】

=====  
1. 第3回リサイクル推進検討会、新ガイドラインを検討

国土交通省港湾局は3月12日、「港湾・空港等リサイクル推進検討会（委員長・菊池東京理科大教授）」の第3回会合を開き、新たな「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン（新ガイドライン）」について検討した。今回検討会の議論を踏まえ、27年度の早い

時期に新ガイドラインを公表する予定。

新ガイドラインは、現行の「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン（平成 13 年策定）」と「港湾・空港等整備におけるリサイクル技術指針（平成 24 年一部改訂）」を統合する形でとりまとめるほか、対象となるリサイクル材料や用途等に関する項目を追加する。

具体的には、リサイクル材料の区分を細分化し、「スラグ二次製品」や「破碎瓦」の項目、また土工の用途として「埋立柱」等を追加する。このほか環境安全品質、災害廃棄物の考え方等を記載する予定。

【港湾空港タイムス】

---

## 2. 交通政策審議会第 59 回港湾分科会を開催

国土交通省港湾局は 3 月 10 日、交通政策審議会第 59 回港湾分科会（分科会長・小林潔司京都大学大学院教授）を開催し、港湾計画として新潟港の改訂、ならびに境港、茨城港、広島港、堺泉北港、酒田港、油津港の各一部変更計画について審議を仰ぎ、いずれも原案通り答申を得た。また日本海側拠点港、国際バルク戦略港湾の各取組状況を報告し委員から意見を聞いた。

港湾計画のうち新潟港の改訂計画は平成 40 年代前半を目標に、西港地区においては船舶大型化への対応として、東海岸地区に水深 11m、10m 公共岸壁を計画。また入船地区において内貿 RORO 船の新規就航及び 9 万 t 級クルーズ船に対応するため、既定計画の公共ふ頭計画（水深 9 m、延長 2 6 0 m）を水深 9 m 延長 3 5 0 m に変更した。

また東港区ではコンテナヤード面積が狭小など、コンテナターミナル機能強化への取組が課題となっていることから、従来の櫛型ふ頭の水路を埋立てふ頭用地に転換、その前面にコンテナ船用水深 12m 岸壁 2 バース延長 5 0 0 m を計画。また国際 RORO 船の就航に対応するため西ふ頭地区に水深 10m 岸壁 1 バース延長 2 4 0 m を新規に位置付けた。

【港湾空港タイムス】

---

## 3. 国交省港湾局、日本海側拠点港の取組状況を報告

国土交通省港湾局は 3 月 10 日に開催した第 59 回港湾分科会において、日本海側拠点港の取組状況について報告した。同拠点港は平成 23 年 1 1 月に国土交通大臣が選定。リサイクル取扱分野では酒田港が拠点港、拠点化形成促進港として能代港が選定されている。

今回の報告は平成 22 年と 25 年（実績）の比較を示した。それによると酒田港（全て輸出）は 22 年の 15・3 万 t に対し、25 年は 18・8 万 t で、23% 増。同港のリサイクル材の取扱目標は 27 年が 20 万 t、37 年が 45 万 t としている。

また能代港は 22 年の 5・3 万 t に対し、25 年は 3・6 万 t で、32% 減。ただ 24 年と 25 年の比較では 50% 増に転じている。同港のリサイクル材の取扱目標は 27 年が 8 万 t、37 年が 18 万 t。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一（株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####